

大好き!  
ふくしま



雪原と化した曾原湖から磐梯山を望んで。  
このロケーションが最高に好きだという金さん。

地元の学校で磐梯山の成り立ちなどを伝える出前授業も行っています。



## 好きなことを突き詰められる環境で 充実した活動ができています

県外の高校に進学した後、海外留学をするなど、長らく故郷の猪苗代町を離れていた金さん。いつかは福島で働きたいという思いや、自然が好きだったことから磐梯山ジオパークに携わる協力隊に応募しました。「北塩原村は、地元とは全く違った自然の顔があり、その美しさを感じられるところが魅力」と話します。

現在は事務局で事務対応やSNS発信のほか、外来種駆除の自然保護活動に参加するなど活動は多岐にわたります。その中でも特に火山に興味を持つようになり、火山で村おこしをしようと自称・ボル女<sup>ジョ</sup>\*としても活躍の幅を広げ、今では月に一度、ラジオで火山の魅力語るほどに。「信念を持って好きなことを突き詰めれば、道は開けると実感しました。これからも自分が好きなことを通して村を盛り上げていけたら」と金さん。その真っ直ぐな姿に元気と勇気をもらえました。\*ボルケーノ好き女子の略称



企画からデザインまでを手掛けたという手ぬぐい。金額は磐梯山の標高である1,816円(税込)とし、16円は磐梯山の保護に使われます。



ボル女による火山のおもしろ話はこちらからどうぞ!



北塩原村  
地域おこし協力隊  
金 裕香さん  
(猪苗代町出身)



店主からこんにやくについて熱い思いを聞いた貴重な時間でした。

これからの中心市街地の活性化や、おいしくて健康にも良いこんにやくの魅力発信など、様々な取組へ挑戦されることを期待しています。

白河市で創業約二百年の歴史を持つ「大島屋蒟蒻店」を訪問しました。お店では、矢祭町で栽培が続けられている希少な在来種を使用したこんにやくの製造・販売に加え、地元の方が気軽に集える憩いの場づくりを目指し、自社のこんにやくを使用したおでん屋も営まれています。

白河市の「大島屋蒟蒻店」を訪問しました。

知事の活動を

伝えるコーナー

知事  
だより

vol.25

